

令和8年度10月期入学
令和9年度4月期入学

福島大学大学院
食農科学研究科（修士課程）
学生募集要項

※本学におけるすべての入試はインターネット出願です。
インターネット出願登録だけでは出願手続は完了しません。
（出願書類一式を簡易書留速達で郵送もしくは持参することで、
出願手続が完了となります。）



〒960-1296
福島市金谷川1番地
☎024-548-8064（入試課）
<https://www.fukushima-u.ac.jp/>

福島大学
スマートフォン対応サイト



目 次

福島大学大学院食農科学研究科（修士課程）学生募集要項

1. アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
2. 募集人員と入学試験日程一覧	3
3. 出願資格	4
4. 出願要件	6
5. 出願手続	7
6. 選抜方法	14
7. 試験日程および試験会場	17
8. 障がい等のある入学志願者の事前相談	18
9. 安全保障輸出管理について	18
10. 合格者発表	18
11. 入学手続および入学手続に係る留意事項	18
12. 入学金・授業料の減免について	19
13. 不正行為の禁止について	19
14. 入学志願者の個人情報保護について	19
15. 長期履修学生制度について	20
16. 課程修了および学位	20
17. 岩手大学大学院連合農学研究科（博士課程）への進学	20
18. 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において 被災された方に対する検定料の免除について	21
19. こども性暴力防止法の施行について	22
○ 福島大学案内図	本要項末

「食農科学研究科食農科学専攻 教員一覧」を、本学ウェブサイト「入試情報-募集要項」
(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>) で公開しています。

1. アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

(1) 食農科学研究科のアドミッション・ポリシー

食農科学研究科は、農林水産物の生産環境、栽培・収穫、加工、販売まで、すなわち「農場から食卓まで」を一連のプロセスとして捉える俯瞰力を持ち、最先端の高度な知識を絶えず更新し（情報力）、持続可能性の視点から安心安全な農林業生産と食品生産を牽引し、社会課題の解決に貢献する人材を養成する。

食品科学、農業生産、森林環境、農村環境、農業経済・経営、フードシステムに関する専門知識や技術を実践的に深め、学際的理解力、コミュニケーション能力、グローバルな知見とその応用力、冷静な分析力を身に付けたいと考えている学生を受け入れる。

(2) 各コースのアドミッション・ポリシー

ア. 食品科学コース

食品科学に関する専門知識や技術に興味を持ち、その研究を推進する意欲のある人、食品科学に関する地域や国内外の課題を自ら見だし、専門知識や技術により自ら解決しようとする意欲のある人、大学院で身に付けた高度な専門知識・知見や研究の経験を、福島県及び国内外の社会に活かす意欲のある人を求める。

イ. 農業生産科学コース

農業生産に関する専門知識や技術に興味を持ち、その研究を推進する意欲のある人、農業生産に関する地域や国内外の課題を自ら見だし、専門知識や技術により自ら解決しようとする意欲のある人、大学院で身に付けた高度な専門知識・知見や研究の経験を、福島県及び国内外の社会に活かす意欲のある人を求める。

ウ. 生産環境科学コース

森林環境と農村環境に関する専門知識や技術に興味を持ち、その研究を推進する意欲のある人、圃場レベルから地球レベルといった多様な空間、及び地域社会の環境問題における国内外の課題を自ら見だし、専門知識や技術により自ら解決しようとする意欲のある人、大学院で身に付けた高度な専門知識・知見や研究の経験を、福島県及び国内外の社会に活かす意欲のある人を求める。

エ. 農業経営科学コース

農業経済・経営、フードシステム、地域・農村社会に関する専門知識や技能に興味を持ち、その研究を推進する意欲のある人、現場に立脚して主体的に課題を解決しようとする意欲のある人、大学院で身に付けた高度な専門知識・知見や研究の経験を、福島県及び国内外の社会に活かす意欲のある人を求める。

(3) 入試の際に求める知識・技能・意欲

食農科学研究科での科目の履修と修士論文研究の遂行に必要な知識、技能、意欲を求めます。

- ・農学系大学・学部の学士課程までに学ぶ基礎的な知識
- ・学修・研究に対する主体性と論理的で柔軟な思考力、理解力、応用力及び表現力
- ・社会課題に挑戦する意欲と、その解決のために協働して課題に取り組む意欲

(4) 入学者選抜の基本方針

前記のアドミッション・ポリシーに基づき、入学者選抜を実施します。下の表に示すように、一般選抜、推薦特別選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜の4つの区分で、筆記試験、口述試験及び出願書類を総合的に判断して選抜を行います。

筆記試験、口述試験、出願書類を基に、本研究科が求める知識・技能・意欲を備えているかを総合的に評価します。

表：入学者選抜の区分と試験

入試区分	筆記試験		外国語	推薦書	成績証明書	口述試験	志願理由書
	専門領域	小論文					
一般選抜	○		○		○	○	○
推薦特別選抜			○	○	○	○	○
社会人特別選抜		○			○	○	○
外国人留学生特別選抜	○		○		○	○	○

2. 募集人員と入学試験日程一覧

<令和8年度10月期入学>

一般選抜，推薦特別選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜

専攻	コース	募集人員
食農科学専攻	食品科学コース	若干名
	農業生産科学コース	
	生産環境科学コース	
	農業経営科学コース	

インターネット出願登録期間 検定料支払期間	令和8年6月27日（土）～7月2日（木）	午後4時30分まで
出願期間	令和8年6月29日（月）～7月2日（木）	午後5時まで
試験日	令和8年8月19日（水）	
合格者発表	令和8年8月27日（木） 午前11時	
入学手続期間	令和8年8月28日（金）～9月3日（木）	午後4時必着

<令和9年度4月期入学>

I期

一般選抜，推薦特別選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜

専攻	コース	募集人員
食農科学専攻	食品科学コース	20名
	農業生産科学コース	
	生産環境科学コース	
	農業経営科学コース	

インターネット出願登録期間 検定料支払期間	令和8年6月27日（土）～7月2日（木）	午後4時30分まで
出願期間	令和8年6月29日（月）～7月2日（木）	午後5時まで
試験日	令和8年8月19日（水）	
合格者発表	令和8年8月27日（木） 午前11時	
入学手続期間	令和8年12月11日（金）～12月18日（金）	午後4時必着

Ⅱ期

一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜

専攻	コース	募集人員
食農科学専攻	食品科学コース	若干名
	農業生産科学コース	
	生産環境科学コース	
	農業経営科学コース	
インターネット出願登録期間 検定料支払期間	令和8年11月22日（日）～11月27日（金）午後4時30分まで	
出願期間	令和8年11月24日（火）～11月27日（金）午後5時まで	
試験日	令和9年1月20日（水）	
合格者発表	令和9年1月28日（木）午前11時	
入学手続期間	令和9年3月7日（日）～3月15日（月）午後4時必着	

※ 募集人員は，一般選抜，推薦特別選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜の合計数です。コースごとの定員は設定していません。

※ 推薦特別選抜は，令和9年度4月期入学のⅡ期においては実施しません。

3. 出願資格

(1) 一般選抜

以下の①～⑥のいずれかに該当する者。

- ① 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に規定する大学を卒業した者および入学希望月の前月末日までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により，学士の学位を授与された者および入学希望月の前月末日までに授与される見込みの者
- ③ 外国において，学校教育における16年の課程を修了した者および入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより，当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価を受けたものまたはこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において，修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了することおよび当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって学校教育法施行規則第155条第1項第4号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により，学士の学位に相当する学位を授与された者および入学希望月の前月末日までに授与される見込みの者

- ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- ⑧ 昭和28年文部省告示第5号をもって文部科学大臣の指定した者
- ⑨ 外国において学校教育における15年の課程を修了し、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得した者と本研究科において認めた者
- ⑩ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得した者と本研究科において認めた者
- ⑪ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学希望月の前月末日現在で満22歳に達している者

(注) 出願資格⑨、⑩または⑪で出願しようとする者については、個別審査を行いますので、本学所定の申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、本学が指定する日時までに提出してください。詳細および提出書類については、本学入試課に問い合わせるか、本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)を参照してください。個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者について出願を受け付け、受験を許可します。

(2) 推薦特別選抜

以下をすべて満たす者。

- ① 「(1) 一般選抜」出願資格①～⑪のいずれかに該当する者。
- ② 成績が優秀で、所属する学部長、学類長または指導教員が責任をもって推薦できる者。
- ③ 研究意志が明確で、合格した場合に入学を確約できる者。

(3) 社会人特別選抜

以下をすべて満たす者。

- ① 「(1) 一般選抜」出願資格①～⑪のいずれかに該当する者。
- ② 出願時において、2年以上の業務経験(主婦・主夫業を含む)を有し、かつ、最後に卒業した大学等の卒業から2年以上経過している者。

(注) 業務経験とは、アルバイト、パート等を含み、労働時間が週平均20時間以上のものに限り、ます。

(4) 外国人留学生特別選抜

以下をすべて満たす者。

- ① 日本国籍を有しない者。
- ② 「(1) 一般選抜」出願資格③～⑥、⑨～⑪のいずれかに該当する者。

(注) 「(1) 一般選抜」出願資格①、②、⑦、⑧のいずれかに該当している場合は、「外国人留学生特別選抜」で出願することはできません。

4. 出願要件

一般選抜，推薦特別選抜に出願できる者は，出願資格に加え，以下の出願要件を満たす者とします。

入学試験日の2年前から出願までの間に受験し獲得したTOEIC Listening & Reading Test（公開テスト）400点以上，TOEIC Listening & Reading Test IP（カレッジTOEICを含む）400点以上，TOEFL iBTテスト34点以上，IELTS3.5点以上のいずれかのスコア証明書を提出できる者。

外国人留学生特別選抜の外国語は，英語または日本語を選択します。英語を選択することができる者は，出願資格に加え，以下の出願要件を満たす者とします。

入学試験日の2年前から出願までの間に受験し獲得したTOEIC Listening & Reading Test（公開テスト）400点以上，TOEIC Listening & Reading Test IP（カレッジTOEICを含む）400点以上，TOEFL iBTテスト34点以上，IELTS3.5点以上のいずれかのスコア証明書を提出できる者。

◎入学志願者は，指導を希望する教員と事前に連絡を取り，研究分野の適合性および希望する研究内容について必ず相談してください。適合性を確認せずに出願した場合は，出願を受け付けないことがあります。連絡先等が不明な場合は，本学入試課（Email:nyushi@adb.fukushima-u.ac.jp）まで問い合わせてください。

5. 出願手続

出願手続の手順については、本学ウェブサイト「入試情報-募集要項」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>)に掲載されている「インターネット出願ガイド」および以下を参照してください。

インターネット出願登録（下記 Step 2）だけでは出願手続は完了しません。

Step 1	出願方法の確認 (8～9 ページ参照)	出願手続を始める前に、この学生募集要項をよく読んで、内容を確認してください。
Step 2	インターネット出願登録 (9 ページ参照)	出願登録期間内に、インターネット出願サイトにアクセスして必要な情報を入力してください。
Step 3	検定料の支払い (9 ページ参照)	インターネット出願サイトの指示に従い、検定料を支払ってください（検定料免除申請を行う場合は支払わないでください）。
Step 4	必要書類の作成・印刷 ・提出 (10～13 ページ参照)	インターネット出願サイトおよび本学ウェブサイトから印刷した必要書類と、他のすべての必要書類を出願期間内に本学へ届くよう「簡易書留速達」で郵送もしくは持参してください。
Step 5	受験票の印刷 (14 ページ参照)	出願が受理されると、出願期間後にインターネット出願サイトから受験票を印刷できるようになります。入学志願者各自がカラー印刷して、必ず試験当日に持参してください。

(1) 事前準備

インターネット出願登録の前に、あらかじめ余裕をもって確認および準備をしてください。	
パソコン等の準備	<p>インターネット出願は、以下の環境で行ってください。</p> <p>PC 利用時推奨環境</p> <ul style="list-style-type: none">・Microsoft Edge 最新版・Google Chrome 最新版・Mozilla Firefox 最新版・Apple Safari 最新版 <p>スマートフォン・タブレット利用時推奨環境</p> <p>※各 OS の標準ブラウザが推奨環境となります。</p> <ul style="list-style-type: none">・iOS 12 以上・Android OS 8 以上・iPadOS 13 以上 <p>※ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブでの同時申込操作は行わないでください。</p> <p>※ブラウザの「戻る」「進む」ボタン、スマートフォンのスワイプは使用せず、画面内に表示されているボタンをご利用ください。</p> <p>※Android のスマートフォンからの操作で Chrome の PC 版からは PDF の表示ができない場合がありますので、モバイル版をご利用ください。</p> <p>※表示が崩れたりうまく動作しないときは他のブラウザを使用してください。</p>
メールアドレスの準備およびメールの設定	<p>出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを準備してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。</p> <p>(@adb.fukushima-u.ac.jp, @e-apply.jp)</p> <p>登録したメールアドレスに、以下に該当するメールが送信されます。</p> <ol style="list-style-type: none">① マイページ登録時のテストメール② 出願登録情報の入力完了時の自動送信メール③ 検定料支払完了時の自動送信メール（検定料免除申請を行う場合は送信されません）④ 受験票がダウンロード可能になった際の通知メール⑤ 出願手続き全般に係る各種メール <p>※受験票を印刷するまで、メールアドレスは変更しないでください。</p>
入学志願者本人写真（データ）の準備	<p>インターネット出願登録にあたって、カラーの顔写真データ（jpg）が必要です（受験票に顔写真が掲載されることとなります）。</p> <p>写真は本人確認に使用しますので、出願前3か月以内に正面向、上半身、脱帽、背景なしで撮影した鮮明な写真を、インターネット出願サイトにてアップロードしてください。</p> <p>写真の比率は縦4cm×横3cm、ファイルサイズは10MBまでです。</p> <p>以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合は、出願を受け付けられないことがあるのでご注意ください。</p> <p>【使用できない写真の例】</p> <p>不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、<u>現像された写真を再撮影しているもの</u>等。</p>
必要書類等の準備	<p>「(6) 出願書類等」(11～13 ページ参照) 記載の書類を、出願期間に間に合うようあらかじめ準備してください。</p>

出願書類提出用封筒の準備	出願書類提出のために、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を準備してください。
様式印刷の準備(プリンタ、印刷用紙等)	インターネット出願サイトから出力する様式類は、A4サイズの印刷用紙にカラー印刷する必要がありますので、カラープリンタおよび印刷用紙を準備してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いませんが、個人情報の取り扱いには十分注意してください。 印字が不鮮明で事実確認ができない場合は、本人に問い合わせる場合があります。

(2) インターネット出願登録期間

<令和8年度10月期入学>

令和8年6月27日(土)～7月2日(木)午後4時30分まで

<令和9年度4月期入学>

I期：令和8年6月27日(土)～7月2日(木)午後4時30分まで

II期：令和8年11月22日(日)～11月27日(金)午後4時30分まで

(3) 検定料の支払い

検定料は**30,000円**です。インターネット出願サイトの支払い方法を参照して、「クレジットカード」「ネットバンキング」「コンビニエンスストア」「郵便局・銀行ATM」のいずれかの方法で支払ってください(支払手数料が別途必要です)。

【支払期間】

<令和8年度10月期入学>

令和8年6月27日(土)～7月2日(木)午後4時30分まで

<令和9年度4月期入学>

I期：令和8年6月27日(土)～7月2日(木)午後4時30分まで

II期：令和8年11月22日(日)～11月27日(金)午後4時30分まで

支払期限はインターネット出願登録を完了した日を含む4日間です(出願締切が4日より短い場合、出願締切が優先されます)。

出願書類を受理した後は、いかなる理由があっても検定料は返還できません。ただし次の場合は検定料返還請求ができますので下記に申し出てください。

ア. 検定料を支払ったが、出願しなかった

(出願書類を提出しなかった、または出願が受理されなかった)

イ. 検定料を誤って二重に支払った

なお、請求方法等については、該当者へ個別に通知します。また、返還の際の振込手数料は請求者負担となります。

検定料返還に関する問い合わせ先

検定料返還手続に関すること：福島大学入試課

Tel：024-548-8064

返還金の振込に関すること：福島大学会計課出納係

Tel：024-548-8015

※ 検定料免除について

本学では、令和8年度に行われるすべての入試において、検定料免除の特別措置を行います。
免除の条件については21ページの「18. 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について」を確認してください。

なお、検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を支払わないでください。

(4) 出願期間

<令和8年度10月期入学>

令和8年6月29日（月）～7月2日（木）午後5時まで

<令和9年度4月期入学>

I期：令和8年6月29日（月）～7月2日（木）午後5時まで

II期：令和8年11月24日（火）～11月27日（金）午後5時まで

(5) 出願書類提出先

福島大学入試課 〒960-1296 福島市金谷川1番地 Tel:024-548-8064

(6) 出願書類等

入学志願者は、以下の表に示す出願書類を取り揃え、出願書類提出用封筒（各自で準備した市販の角形2号（240mm×332mm））に封入し、**簡易書留速達**で郵送するか、本学入試課窓口を持参してください。出願期間を過ぎた場合は受理できませんので、郵送期間を十分に考慮して早めに送付してください。ただし、出願期間最終日前日の発信局消印のある簡易書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理します。出願期間最終日当日の発信局消印の簡易書留速達は、受理しません（出願期間内に書類が本学に到着しないことが確実であるため）。

持参する場合、入試課の窓口受付時間は平日の午前9時から午後5時までです。

○ 全入試区分共通

出願に必要な書類	摘 要
1. 入学志願票（◆）	本研究科所定の様式 必要事項を記入してください。
2. 成績証明書	出身（所属）大学長または学部長が作成したもの。 （コピー不可）
3. 出願資格を証明する書類	以下の書類のうち、該当するもの。 ・卒業（見込）証明書 ・学位授与証明書 大学改革支援・学位授与機構が発行したもの。学位の授与を申請する予定の者または申請中の者は、短期大学長または高等専門学校長が作成した学士の学位授与を申請（予定）した旨の証明書。 ・専修学校専門課程修了（見込）証明書 出願資格⑦に該当する者。証明書内に「修業年限が4年以上であること」、「課程の修了に必要な総授業時間数が3,400時間以上あること」の資格要件が明記されたもの。 ・専修免許状または一種免許状の写し 出願資格⑧に該当する者のうち、昭和28年文部省告示第5号十に該当する者。
4. 志願理由書（◆）	本研究科所定の様式 本研究科を志望する理由を記入してください。社会人特別選抜出願者は、他の選抜と様式が違うため注意してください。
5. 検定料免除申請書（◆） および添付書類 【※申請者のみ提出】	本研究科所定の様式 検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を支払わないでください。
6. 出願書類提出用 宛名シート	インターネット出願登録後、インターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷し、出願書類提出用封筒のおもて面にはがれないよう全面のり付けで貼付してください。 出願に必要な書類を封入し、宛名シートの出願者チェック欄において、出願書類に漏れがないことをチェックしてください。

○ 一般選抜

出願に必要な書類	摘 要
7. 英語能力試験の成績証明書	次に挙げるいずれかの英語能力試験のスコアを採用します。 <ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC Listening & Reading Test (公開テスト) ・TOEIC Listening & Reading Test IP (カレッジTOEICを含む) ・TOEFL iBT テスト ・IELTS 入学試験日の2年前から出願までの間に受験し獲得したスコアを対象とします。複数回受験した場合には、入学志願者が有利だと判断したスコア1つを提出してください。 <u>※「4. 出願要件」(6ページ)を満たす成績証明書を1つ提出してください。</u>

○ 推薦特別選抜

出願に必要な書類	摘 要
7. 英語能力試験の成績証明書	次に挙げるいずれかの英語能力試験のスコアを採用します。 <ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC Listening & Reading Test (公開テスト) ・TOEIC Listening & Reading Test IP (カレッジTOEICを含む) ・TOEFL iBT テスト ・IELTS 入学試験日の2年前から出願までの間に受験し獲得したスコアを対象とします。複数回受験した場合には、入学志願者が有利だと判断したスコア1つを提出してください。 <u>※「4. 出願要件」(6ページ)を満たす成績証明書を1つ提出してください。</u>
8. 推薦書 (◆)	本研究科所定の様式 指導教員の所見に基づき、推薦者(所属長等)が署名、押印し、厳封したもの。

○ 社会人特別選抜

出願に必要な書類	摘 要
7. 在職証明書等	2年以上在職している、または在職していたことを証明する書類を提出してください。

○ 外国人留学生特別選抜

出願に必要な書類	摘 要
7. 右のいずれかを提出してください	次に挙げるいずれかの英語能力試験のスコアを採用します。 <ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC Listening & Reading Test (公開テスト) ・TOEIC Listening & Reading Test IP (カレッジTOEICを含む) ・TOEFL iBT テスト ・IELTS 入学試験日の2年前から出願までの間に受験し獲得したスコアを対象とします。複数回受験した場合には、入学志願者が有利だと判断したスコア1つを提出してください。 <u>※「4. 出願要件」(6ページ)を満たす成績証明書を1つ提出してください。</u>
	日本語能力試験の成績証明書の原本 入学試験日から過去2年以内に受験したものを対象とします。複数回受験した場合には、入学志願者が有利だと判断した成績1つを提出してください(コピー不可)。
	日本留学試験の受験票の写し 複数回受験した場合には、入学志願者が有利だと判断した成績1つを提出してください。

※「英語能力試験の成績証明書」については、以下を参照してください。

試験名	提出するスコアシート
TOEIC Listening & Reading Test (公開テスト) TOEIC Listening & Reading Test IP (カレッジTOEICを含む)	下記のうちどれか1つを提出してください。 ・ Official Score Certificate (公式認定証) の原本 ・ Score Report (個人成績表) の原本 ・ デジタル公式認定証 デジタル公式認定証を提出する場合は、発行されたPDFを、QRコードが読み込めるようはっきりとカラー印刷し、提出してください。
TOEFL iBTテスト	Test Taker Score Reportの原本 本研究科では、Test Dateスコアのみを出願スコアとして利用します。My Best™スコアは利用しません。
IELTS	Test Report Form (成績証明書)

(7) 出願書類作成上の注意事項

- ① インターネット出願登録完了後は、登録内容の修正はできませんので、誤入力のないよう注意してください。
- ② 表中の「◆」印の書類は、本学ウェブサイトから様式をA4サイズでモノクロ印刷（複数ページの場合は両面印刷）して作成する書類です。
(本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>)
黒か青のボールペンまたは万年筆を用い、楷書で記入してください。また、パソコンによる作成も可能です。
- ③ 押印が必要な書類もありますので注意してください。
- ④ 誤って記入した場合は、誤記入の部分を二重線で消し訂正してください。
- ⑤ 廃校、被災または保存期間超過による廃棄など種々の事情により出身学校の成績証明書を得られない者は、成績通信簿を提出してください。提出は原本に限ります。原本の返却を希望する場合は「返信用封筒」を各自で準備し、切手を貼り付けて、出願書類に同封してください。また、これらの提出書類が整わない場合には、本学入試課へ問い合わせてください。
- ⑥ 日本語以外で書かれた証明書、文書、資料等には、その日本語訳を必ず添付してください。
- ⑦ 出願書類に次のような不備のある場合は受理できませんので注意してください。
 - ・ 入学志願票等に、記入漏れまたは誤記入があるもの
 - ・ 出願書類として添付が必要な証明書等が、同封されていないもの
- ⑧ 出願書類受理後、出願の取り消し、書類の返却（⑩に記載した証明書原本を除く）および志望コースの変更は認めません。
- ⑨ 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学を取り消すことがあります。
- ⑩ 証明書記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、同一人であることが分かる公的な証明書（戸籍抄本等）を別途提出してください。
- ⑪ 「英語能力試験の成績証明書」、外国人留学生特別選抜における「日本語能力試験の成績証明書」は、入試課において複写後、試験当日に返却します。郵送での返却を希望する場合は「返信用封筒」を各自で準備し、切手を貼り付けて出願書類に同封してください。TOEICデジタル公式認定証および「日本留学試験の受験票の写し」は返却しません。

(8) 受験票の印刷

受験票は、出願期間後にインターネット出願サイトから印刷できるようになります。**カラー印刷し、試験当日に必ず持参してください。**

受験票の注意事項を読み、試験が始まる前に点線部で山折りにしてください。

出願時に登録されたメールアドレスに、受験票の印刷ができるようになったことのお知らせするメールをお送りしますが、メールが届かない場合でも、試験日の3日前までにインターネット出願サイトにログインして受験票を印刷してください。

6. 選抜方法

(1) 一般選抜

入学者の選抜は、筆記試験（専門領域）と口述試験の成績、外国語（英語）の能力および書類審査の結果を総合的に判断して行います。

- ・筆記試験：以下の表の専門分野から1つ選択してください。出願後、専門分野の変更は認めません。

専攻	コース	専門領域	専門分野
食農科学専攻	食品科学コース	生物化学領域	食品化学, 分析化学, 生物有機化学, 生化学
		微生物学領域	食品微生物学, 応用微生物学
	農業生産科学コース	農業生産科学領域	作物学, 野菜・花卉園芸学, 果樹園芸学, 植物栄養学, 遺伝育種学, 土壌学, 植物病理学, 応用昆虫学, 畜産学, 環境保全型農業論
	生産環境科学コース	森林管理学領域	森林科学, 森林政策学, 森林生態学
		農地管理学領域	農業機械学, 水士壌圏環境学, 農業情報学
		農林環境生態学領域	野生動物管理学, 農村計画学, 農業水利学, 生態学
農業経営科学コース	農業経済学領域	地域農業論, 流通・マーケティング論, 農業経済・政策学	

以下に各専門領域・専門分野の学修に役立つと思われる参考書を掲載します。

専門領域・専門分野	参考書
生物化学領域・食品化学	和田俊／後藤直宏 (2004) 『食品機能学—脂質—』丸善出版 中村宣督／榊原啓之／室田佳恵子 (2018) 『エッセンシャル食品化学』講談社
生物化学領域・分析化学 1	I. Tinocoら (2015) 『バイオサイエンスのための物理化学 (第5版)』東京化学同人 杉浦悠毅ら (2023) 『バイオサイエンスのための基礎化学』化学同人
生物化学領域・分析化学 2	小林三智子／神山かおる (2022) 『食品物性とテクスチャー』建帛社
生物化学領域・生物有機化学	John McMurry 他 (2018) 『マクマリー生物有機化学 生化学編 原書8版』丸善出版
生物化学領域・生化学	久保田紀久枝／森光康次郎 (2021) 『食品学 食品成分と食品機能 第2版』東京化学同人

微生物学領域・食品微生物学	小泉武夫（2012）『発酵食品学』講談社 大木理（2016）『微生物学（特に3～6章, 13章, 14章）』 東京化学同人
農業生産科学領域・環境保全型農業論	スティーヴン・グリースマン（2023） 『アグロエコロジー 持続可能なフードシステムの生態学』 農山漁村文化協会
農林環境生態学領域・農村計画学	塩沢昌／山路永司／吉田修一郎（2016） 『農地環境工学第2版』（特に第8章, 9章）文永堂出版
農業経済学領域	荏開津典生／鈴木宣弘（2026） 『農業経済学 第6版』岩波書店 （同書 第5版（2020）でも問題ない）

- ・口述試験：志望するコースおよび専門分野（指導を希望する教員の専門分野）に関する口述試験を実施します。事前に提出された志願理由書も参考に質問します。
- ・外国語（英語）：事前に提出された英語能力試験のスコアに基づいて評価します。
- ・書類審査：事前に提出された成績証明書等を審査します。

(2) 推薦特別選抜

入学者の選抜は、口述試験の成績、外国語（英語）の能力および書類審査の結果を総合的に判断して行います。

- ・口述試験：卒業論文研究等のこれまでの研究内容と食農科学研究科で学びたいこと、研究したいことについて、プレゼンテーションソフト等で作成した資料などを用いて10分以内で説明してください。プロジェクターを準備しますので、ノートパソコン等を持参してください。事前に提出された志願理由書も参考に質問します。
- ・外国語（英語）：事前に提出された英語能力試験のスコアに基づいて評価します。
- ・書類審査：事前に提出された成績証明書等を審査します。

(3) 社会人特別選抜

入学者の選抜は、筆記試験（小論文）と口述試験の成績および書類審査の結果を総合的に判断して行います。

- ・筆記試験：食と農の科学に関する小論文とします。
- ・口述試験：卒業論文研究等のこれまでの研究内容、社会での実務経験・実績等と食農科学研究科で学びたいこと、研究したいことについて、プレゼンテーションソフト等で作成した資料などを用いて10分以内で説明してください。プロジェクターを準備しますので、ノートパソコン等を持参してください。事前に提出された志願理由書も参考に質問します。
- ・書類審査：事前に提出された成績証明書等を審査します。

(4) 外国人留学生特別選抜

入学者の選抜は、筆記試験（専門領域）と口述試験の成績、外国語（英語または日本語）の能力および書類審査の結果を総合的に判断して行います。

- ・筆記試験：以下の表の専門分野から1つ選択してください。出願後、専門分野の変更は認めません。

専攻	コース	専門領域	専門分野
食農科学専攻	食品科学コース	生物化学領域	食品化学, 分析化学, 生物有機化学, 生化学
		微生物学領域	食品微生物学, 応用微生物学
	農業生産科学コース	農業生産科学領域	作物学, 野菜・花卉園芸学, 果樹園芸学, 植物栄養学, 遺伝育種学, 土壌学, 植物病理学, 応用昆虫学, 畜産学, 環境保全型農業論
	生産環境科学コース	森林管理学領域	森林科学, 森林政策学, 森林生態学
		農地管理学領域	農業機械学, 水士壤圏環境学, 農業情報学
		農林環境生態学領域	野生動物管理学, 農村計画学, 農業水利学, 生態学
	農業経営科学コース	農業経済学領域	地域農業論, 流通・マーケティング論, 農業経済・政策学

以下に各専門領域・専門分野の学修に役立つと思われる参考書を掲載します。

専門領域・専門分野	参考書
生物化学領域・食品化学	和田俊／後藤直宏（2004） 『食品機能学—脂質—』丸善出版 中村宣督／榊原啓之／室田佳恵子（2018） 『エッセンシャル食品化学』講談社
生物化学領域・分析化学 1	I. Tinocoら（2015） 『バイオサイエンスのための物理化学（第5版）』東京化学同人 杉浦悠毅ら（2023） 『バイオサイエンスのための基礎化学』化学同人
生物化学領域・分析化学 2	小林三智子／神山かおる（2022） 『食品物性とテクスチャー』建帛社
生物化学領域・生物有機化学	John McMurry 他（2018） 『マクマリー生物有機化学 生化学編 原書8版』丸善出版
生物化学領域・生化学	久保田紀久枝／森光康次郎（2021） 『食品学 食品成分と食品機能 第2版』東京化学同人
微生物学領域・食品微生物学	小泉武夫（2012）『発酵食品学』講談社 大木理（2016）『微生物学（特に3章～6章, 13章, 14章）』東京化学同人
農業生産科学領域・環境保全型農業論	スティーヴン・グリースマン（2023） 『アグロエコロジー 持続可能なフードシステムの生態学』農山漁村文化協会
農林環境生態学領域・農村計画学	塩沢昌／山路永司／吉田修一郎（2016） 『農地環境工学第2版』（特に第8章, 9章）文永堂出版
農業経済学領域	荏開津典生／鈴木宣弘（2026） 『農業経済学 第6版』岩波書店 （同書 第5版（2020）でも問題ない）

- ・口述試験：志望するコースおよび専門分野（指導を希望する教員の専門分野）に関する口述試験を実施します。事前に提出された志願理由書も参考に質問します。
- ・外国語（英語または日本語）：事前に提出された英語能力試験（もしくは日本語能力試験，日本留学試験）のスコアに基づいて評価します。
- ・書類審査：事前に提出された成績証明書等を審査します。

7. 試験日程および試験会場

(1) 試験日程

<令和8年度10月期入学>

入試区分	日 時	試験科目等
一般選抜	10:30～11:30	筆記試験（専門領域）
	12:30～	口述試験
推薦特別選抜	12:30～	口述試験
社会人特別選抜	10:00～11:30	筆記試験（小論文）
	12:30～	口述試験
外国人留学生特別選抜	10:30～11:30	筆記試験（専門領域）
	12:30～	口述試験

<令和9年度4月期入学>

I期

入試区分	日 時	試験科目等
一般選抜	10:30～11:30	筆記試験（専門領域）
	12:30～	口述試験
推薦特別選抜	12:30～	口述試験
社会人特別選抜	10:00～11:30	筆記試験（小論文）
	12:30～	口述試験
外国人留学生特別選抜	10:30～11:30	筆記試験（専門領域）
	12:30～	口述試験

II期

入試区分	日 時	試験科目等
一般選抜	10:30～11:30	筆記試験（専門領域）
	12:30～	口述試験
社会人特別選抜	10:00～11:30	筆記試験（小論文）
	12:30～	口述試験
外国人留学生特別選抜	10:30～11:30	筆記試験（専門領域）
	12:30～	口述試験

(2) 試験会場

福島大学（福島市金谷川1番地）

本要項末の福島大学案内図を参照してください。試験会場等の詳細については、本学ウェブサ

イト「入試情報」 (<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) でお知らせします。

試験当日、天候状況や公共交通機関などの影響により試験が繰り下げ、延期等される場合は、本学ウェブサイトの「入試情報」 (<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) でお知らせします。

8. 障がい等のある入学志願者の事前相談

病気・負傷や障がい等のある入学志願者で、受験上および修学上の配慮を必要とする場合は、出願の1か月前までに本学入試課に申し出てください。試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。

9. 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等の教育・研究内容が国際的な平和および安全の維持を阻害することが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っています。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合がありますのでご注意ください。

問い合わせ先：福島大学研究振興課
Tel：024-548-5248

10. 合格者発表

<令和8年度10月期入学>
令和8年8月27日(木) 午前11時

<令和9年度4月期入学>
Ⅰ期：令和8年8月27日(木) 午前11時
Ⅱ期：令和9年1月28日(木) 午前11時

合格者の発表は、本学ウェブサイトの「入試情報」 (<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) に受験番号を掲載するとともに、合格者には「合格通知書」および入学に必要な手続・諸会費等を記載した「入学手続の手引き」を郵送します。電話等による合否の問い合わせには応じません。

11. 入学手続および入学手続に係る留意事項

(1) 入学手続

合格者は、下記期間に郵送により入学手続を完了してください。詳細は、合格者に送付する「入学手続の手引き」に記載します。指定期日までに入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失います。

<令和8年度10月期入学>
令和8年8月28日(金)～9月3日(木) 午後4時必着

<令和9年度4月期入学>
Ⅰ期：令和8年12月11日(金)～12月18日(金) 午後4時必着
Ⅱ期：令和9年3月7日(日)～3月15日(月) 午後4時必着

※ 「入学手続の手引き」は、令和8年度10月期合格者および令和9年度4月期Ⅱ期合格者は「合格通知書」送付時に、令和9年度4月期Ⅰ期合格者は10月上旬に送付予定です。

(2) 入学料および授業料

入学料 282,000円 [予定]

授業料 前期分 267,900円 [予定] 後期分 267,900円 [予定] 年額 535,800円 [予定]

(注1) 入学時および在学中に入学料・授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな入学料・授業料が適用されます。

(注2) 入学手続完了後、特別な事情により入学を辞退する場合には、事前に本学入試課まで電話で連絡し、令和8年度10月期入学者は令和8年9月30日(水)午後5時(必着)までに、令和9年度4月期入学者は令和9年3月31日(水)午後5時(必着)までに「入学辞退願(任意の様式により、辞退理由(具体的に理由を付す)、氏名、受験番号、願出日付を記入し、本人が署名したもの)」を提出してください。ただし、入学料は返還しません。留年等により入学資格を満たせなくなった場合を含みます。

12. 入学料・授業料の減免について

経済的理由により入学料、授業料の納入が困難で、かつ、最終大学・学校等における学業成績が優秀と認められる場合には、選考のうえ入学料、授業料の減免が許可される制度があります。入学料、授業料の免除等に関する詳細は、合格者に交付する「入学手続の手引き」を参照してください。

問い合わせ先：福島大学学生支援課
Tel：024-548-8060

13. 不正行為の禁止について

(1) 不正行為に該当する行為および罰則について

試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用する等の行為は、不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、不正行為については、警察に被害届を提出する場合があります。

(2) 試験時間中に使用できないもの

試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

① 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、イヤホン(補聴器等の管理医療機器を除く)、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類

※ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。

※ 試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。

② 下敷、コンパス、定規等の補助具

※ これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとならざる不正行為となることがあります。

14. 入学志願者の個人情報保護について

本学では、提出された出願書類や入学試験により個人情報を取得します。取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」および「国立大学法人福島大学個人情報保護管理規則」に基づき、下記の目的でのみ利用し、その保護に努めます。

○ 入学者選抜に関する業務(統計処理等の付随する業務を含む)に利用します。

- 入学手続に関する業務に利用します。
- 入学手続完了者にあつては、入学後の修学指導業務および学生支援業務、授業料徴収業務、入学者の教育方法の改善に利用します。また、入学料免除、授業料免除および各種奨学金申請（応募）者にあつては、入学試験の成績等を当該免除者または奨学金貸与者の選考判定等に利用する場合があります。

また、出願手続に関する業務を円滑に進めるため、業務の一部を外部に委託しています。委託先に対して、必要な個人情報を提供しますが、委託先との間で適切な取り扱いに関する契約の締結をはじめ、適切な監督を行います。

15. 長期履修学生制度について

職業に就いている等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修して課程を修了することを希望する学生のために、標準修業年限を超えた期間（長期履修期間）で修学を可能にする制度があります。

長期履修生として認められた場合は、認められた長期履修期間に応じて分割した額の授業料を各年度に支払うこととなります（例えば、修士課程学生の場合、通常2年で修了となりますが、この制度を利用することで、授業料総額はそのままに3年もしくは4年間かけて学び、修了することが可能となります）。

詳しくは、下記まで問い合わせてください。

問い合わせ先: 福島大学教務課

Tel: 024-549-0061

16. 課程修了および学位

必修科目を含む30単位以上を修得し、かつ、修士論文の審査および最終試験に合格した者には、課程の修了を認定し、修士（農学）の学位が授与されます。

なお、本学大学院の案内や本研究科の課程やカリキュラム等については、それぞれの本学ウェブサイトをご覧ください。

17. 岩手大学大学院連合農学研究科（博士課程）への進学

岩手大学大学院連合農学研究科は、本学大学院食農科学研究科（修士課程）、岩手大学の大学院総合科学研究科農学専攻、地域創生専攻、弘前大学の大学院農学生命科学研究科、地域共創科学研究科、山形大学の大学院農学研究科（修士課程）を基盤組織とした博士課程です。岩手大学大学院連合農学研究科は、生物生産科学、生物資源科学、地域環境創生学の3専攻、9連合講座が置かれており、本学大学院食農科学研究科（修士課程）の学生は選考により修士課程から引き続き進学することができます。

なお、本学大学院食農科学研究科（修士課程）を修了して3年以内の者は進学者として扱われ、検定料と入学料は納付する必要がありません。

詳しくは、下記まで問い合わせてください。

問い合わせ先：岩手大学大学院連合農学研究科事務室

Tel: 019-621-6249

Mail: rendai2@iwate-u.ac.jp

18. 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について

本学では、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故、および平成23年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し、被災受験者の進学機会の確保を図るために、令和8年度に行われるすべての入試において、検定料免除の特別措置を以下のとおり行います。

(1) 対象者

出願期間終了までに、次のいずれかに該当すると認められた本学入学志願者については、検定料を全額免除します。なお、入学志願者が被災していない場合は免除の対象になりません。

- ① 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、入学志願者または主たる家計支持者が居住していた家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失の罹災と認定された方
- ② 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、主たる家計支持者が死亡または行方不明となった方
- ③ 東京電力福島第一原子力発電所事故を受けて設定された「警戒区域」「計画的避難区域」「緊急時避難準備区域」「特定避難勧奨地点」に平成23年3月11日時点で入学志願者または主たる家計支持者が居住していた方で、これに伴い避難を余儀なくされた方

上記免除対象者の詳細については以下の表を確認してください。

区 分	検定料免除の可否（可は○、否は×で示しています）				
	全 壊	大規模半壊	半 壊	流 失	一部損壊
①家屋の全・半壊	○				×
②主たる家計支持者が死亡または行方不明	主たる家計支持者				主たる家計支持者以外
	○				×
③原発事故による影響	警戒区域	計画的避難区域	緊急時避難準備区域	特定避難勧奨地点	それ以外の地域
	○				×

(注) 区域については、再編前の区域としています。

(2) 必要書類

検定料免除を申請するにあたって必要な書類は以下のとおりです。

- ① 検定料免除申請書
本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」 (<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>) 参照
- ② 次に挙げる証明書のいずれか一つの写し
上記(1)①に該当する場合、「市町村長が発行する罹災証明書」
上記(1)②に該当する場合、「主たる家計支持者の死亡または行方不明を確認できる書類」
上記(1)③に該当する場合、「避難している（いた）ことが確認できる書類」（自己申立書でも可）

(3) 必要書類の提出方法と提出期間

出願時に書類と合わせて提出してください。

検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を支払わないでください。

※ 出願期間後の申請は認められませんので、ご注意ください。

※ 諸事情により出願時に(2)②の証明書等を提出できない場合は、事前に本学入試課までお問い合わせください。

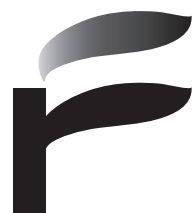
19. こども性暴力防止法の施行について

学校等における実習に参加する実習生について性犯罪前科の有無の確認が求められる場合があります。

留意点を以下の教務課ホームページに掲載しています。

https://kyoumu.adb.fukushima-u.ac.jp/pdf/index/kodomo_seibouryoku.pdf





国立大学法人

福島大学

Fukushima University